

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 業務名 | GPS波浪計測設備係留方策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日
または選定通知日 | 令和7年6月16日 |
| 5 公示日 | 令和7年5月22日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年7月31日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(一財)沿岸技術研究センター	○	

プロポーザル評価表

1. 件名 GPS波浪計測設備係留方策検討業務
2. 所属事務所 四国地方整備局港湾空港部
3. 技術提案書の特定通知日 令和7年7月31日

業 者 名		技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 経験及び能力	特定テーマ			
			特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	50	170		220	
(一財)沿岸技術研究センター		41	112		153	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 業務名 | GPS波浪計測設備係留方策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和7年5月22日 |
| 5 選定通知日 | 令和7年6月16日 |

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
(一財)沿岸技術研究センター	○	

【令和7年度 公募型・簡易公募型競争入札方式、公募型・簡易公募型プロポーザル方式、公募型・簡易公募型総合評価落札方式業者選定資料】

予算区分		港湾	
件名	GPS波浪計測設備係留方策検討業務		
業務概要・数量	本業務は、徳島県海陽町沖GPS波浪計測設備の係留索について、現場条件等を踏まえ係留索の耐摩耗性及び経済性等を考慮し、係留方式等の検討を行うものである。また、検討にあたっては学識経験者へのヒアリングを行い、意見のとりまとめを行うものである。 ・計画準備等 1式 ・係留方式等の検討 1式 ・成果物 1式		
		業務区分	業務の等級
		建設コンサルタント等	A
技術提案書のヒアリング実施日		入札予定日	履行期間
令和7年7月15日～17日		令和7年8月20日	令和8年3月19日
		発注形態	
		単体設計 設計共同体	

ランク：建設コンサルタント等 A等級	技術者の資格：・技術士(総合技術監理部門(建設又は船舶・海洋)、建設部門又は船舶・海洋部門) ・博士(業務に該当する分野) ・APECエンジニア(業務に該当する分野) ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・海洋・港湾構造物設計士 ・RCCM(港湾及び空港部門)又は同等の能力を有する者(技術士部門と同様の部門に限る。)。但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者
契約形態：簡易公募型プロポーザル方式	
企業の同種業務実績：外洋域における浮体構造物(GPS波浪計、海洋ブイ等)の係留索について検討を行った業務 企業の類似業務実績：港湾における浮体構造物(浮桟橋、浮標等)の係留索について検討を行った業務	技術者の同種業務実績：企業と同じ 技術者の類似業務実績：企業と同じ
特定テーマ：徳島県海陽町沖におけるGPS波浪計測設備係留索の耐摩耗性を考慮した係留方式等を検討する上での課題、着眼点及び解決方法について	

[illegible]